

平成28年度
学校評価アンケート結果



阿南市立阿南第一中学校

平成28年度調査

1 回答者

平成29年1月10日(火)～23日(月)
教職員30名 生徒351名 保護者344名

2 回答方法

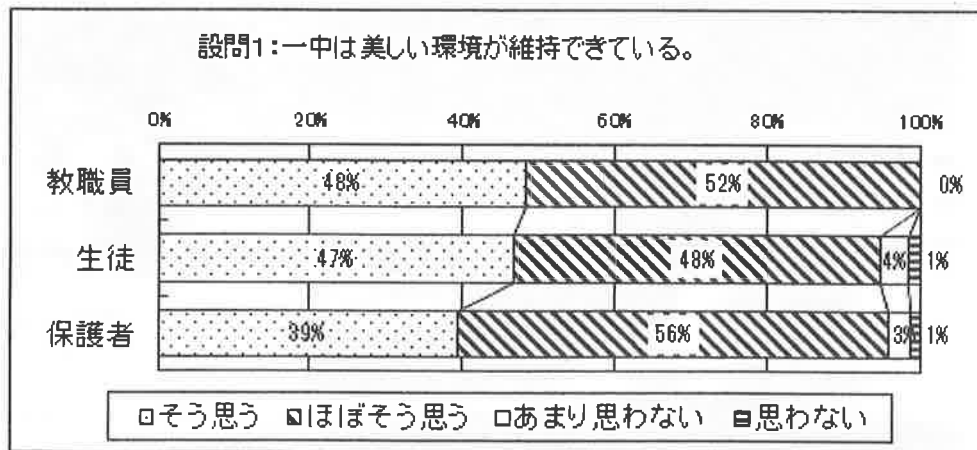
各質問事項に対して、「1 そう思う」「2 ほぼそう思う」「3 あまり思わない」「4 思わない」の4段階で回答していただき、「1 そう思う」「2 ほぼそう思う」を肯定的意見、「3 あまり思わない」「4 思わない」を否定的意見として、調査結果を分析しました。

保護者のアンケートについては、兄弟姉妹等の複数の生徒が在籍している場合は、全員分回答していただくようにしました。

3 結果の活用

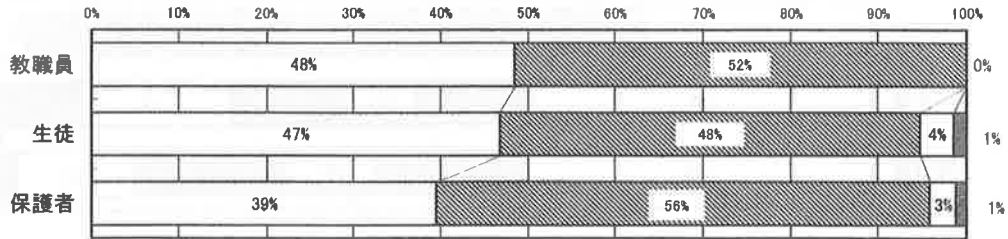
調査結果は2月にとりまとめ、全教職員に配布検討し、課題と改善点を明らかにした上で、29年度の学校運営や教育方針、さらに重点目標の参考にしていきます。また、保護者や学校評議員の方にも調査結果をお示ししてご助言をいただき、改善すべき点は積極的に改善するよう努めていきます。

グラフの見方(例) グラフ内の数字は全体に占める割合(パーセント)です。

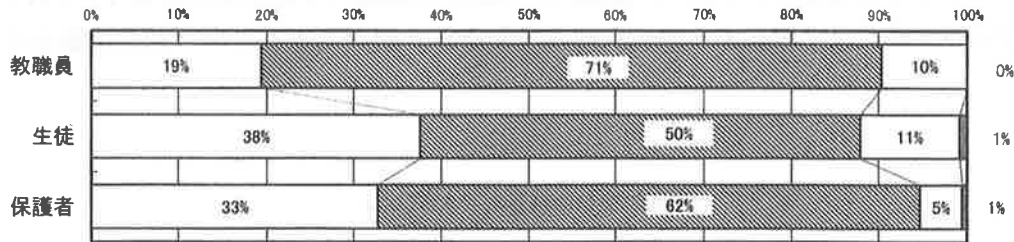


1 学校の環境に関すること

設問1:一中は美しい環境が維持できている。



設問2:一中学生は清掃によく取り組んでいる。

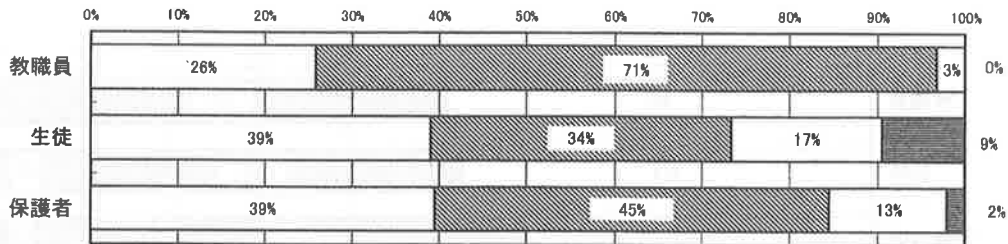


【設問1】では、肯定的な回答が昨年とほぼ同じ割合になり、高い評価が得られました。しかし、昨年に比べ「そう思う」が、教職員22%、生徒5%、保護者10%低くなっています。

【設問2】では、生徒88%、保護者95%と昨年とほぼ同じ肯定的な回答になっています。教職員も90%が肯定的で、昨年より3%高い回答になっています。今後もきれいな環境を維持するために日々の清掃活動を充実させていきます。

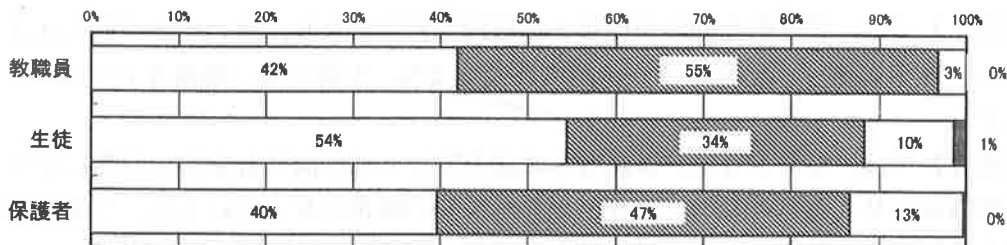
2 生徒の学校生活に関すること

設問3:生徒は学校へ来るのを楽しみにしている。



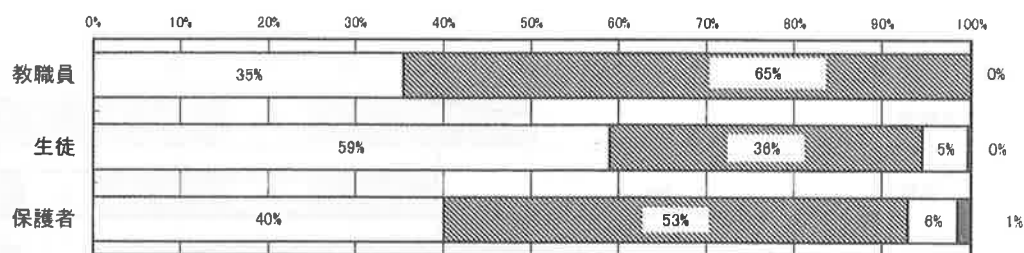
【設問3】では、「学校へ来るのを楽しみにしている」と回答した生徒は73%で、昨年より12%減少しています。保護者は84%で昨年から1%の減少です。生徒の否定的な数字が26%と昨年より15%増加してきたのは今後の課題です。逆に教職員は肯定的な数字が昨年より8%増加しており、教職員と生徒との意識のずれが見られます。これからも、すべての生徒が「学校へ来るのが楽しみである」と回答できるよう、教育活動をすすめます。

設問4:生徒は挨拶ができています。



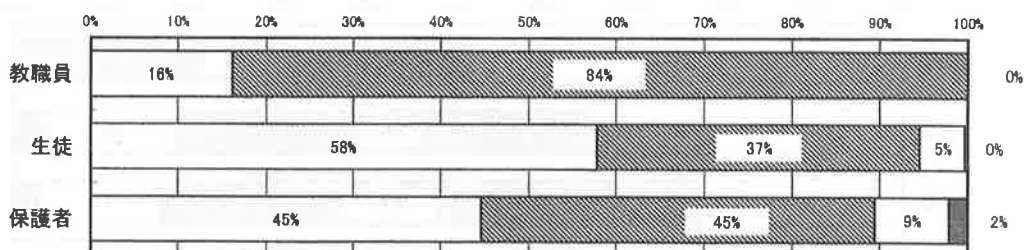
【設問4】では、生徒、保護者、教職員ともに高い数字で肯定的な回答をしています。特に「そう思う」と答えた保護者が4%増加しています。生徒の88%、教職員の95%が肯定的な回答を寄せており、挨拶への意識は高いといえます。今後も「挨拶日本一」を目標に、社会生活の基本として、また、一中の伝統として継続させていきます。

設問5:生徒は学校の規則を守れている。



【設問5】では、昨年同様「規則が守られている」と回答した生徒、保護者、教職員とも9割を超えています。また、「そう思う」との回答が教職員では、19%増加し、生徒の規範意識の高まりがうかがえます。教職員と生徒・保護者間で差があるものの、昨年より差は減少しておりいい傾向だといえます。ほとんどの生徒が規則を守り、落ち着いた生活を送っています。学校だけでなく、地域社会の一員としての自覚を持ち、高い規範意識のもと規律正しく生活できるよう、今後も集団行動をはじめ学級活動など、日々の学習活動で指導し定着を図っていきます。

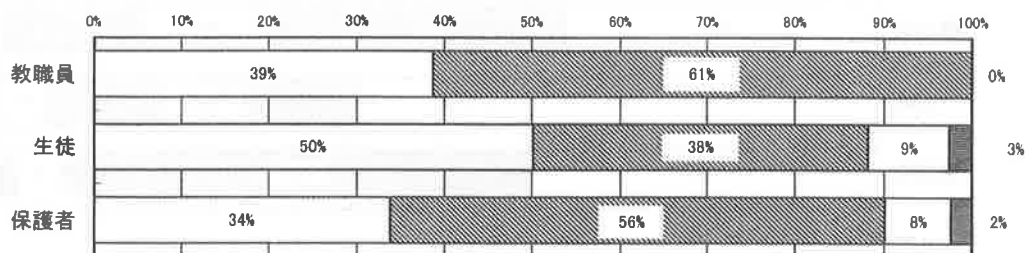
設問6:生徒は交通マナー(ヘルメット・並進等)が守れている。



【設問6】今年度、一中でも交通事故が発生しました。日々、危機感と緊張感をもって交通マナーやルールを守った登下校をすることがとても大事です。肯定的な回答は、教職員では昨年より6%増えています。また、否定的な回答は、生徒は5%減少しましたが、保護者は4%増えています。命に関わる問題だけに、日々呼びかけや啓発をすすめ、安全第一の教育を行っていきます。

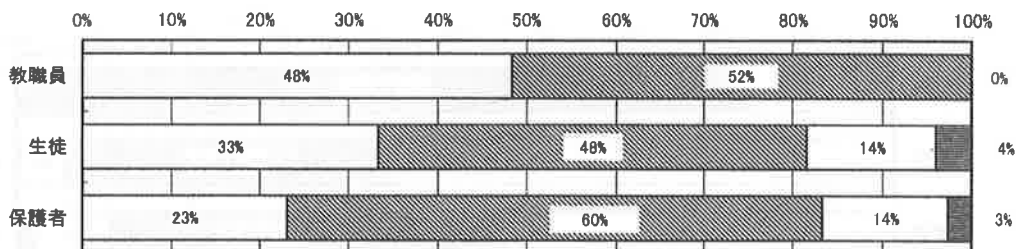
3 生徒指導に関すること

設問7:生活や規則について、適切な指導ができています。



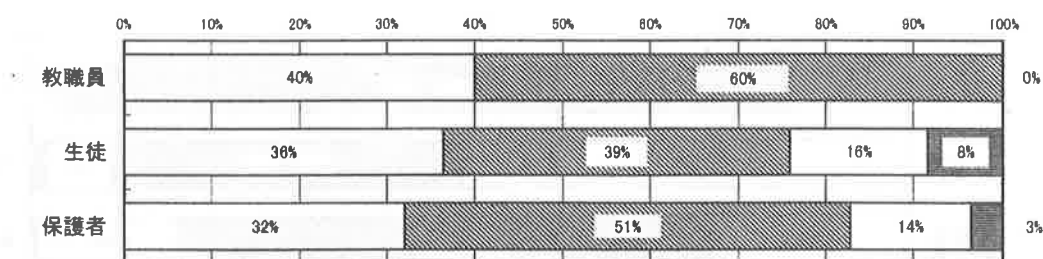
【設問7】「生活や規則について、適切な指導ができています」について、生徒の88%、保護者の90%が肯定的に回答しています。教職員・保護者・生徒ともに昨年度とほぼ同じ数字です。教職員は今後も適切な指導が継続してできるように、生徒・保護者・教職員が協力して100%をめざし、活動をすすめていきます。

設問8:問題が生じた場合、適切な解決がなされている。



【設問8】生徒の81%、保護者の83%が肯定的にとらえてくれています。これも昨年とほぼ同じ数字ですが、「そう思う」が生徒で3%、教職員で3%増えています。しかし、まだ生徒の18%、保護者の17%は否定的に見ています。今後も優しさと厳しさをもって、信頼関係をつくる上で粘り強く問題の適切な解決を図っていきます。

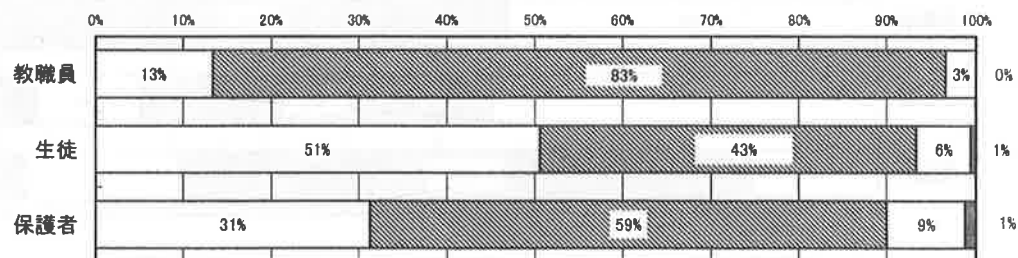
設問9: 生徒のことに適切に相談に応じている。



【設問9】【設問8】では肯定的な意見が多かったですが、【設問9】の相談活動では、生徒の24%が否定的な回答となっています。これは、昨年度とほぼ同じ数値です。肯定的な数字が多い一方で、教職員との意識のずれも見られます。これらのことから、今後、教職員は時間の確保に努め、より丁寧に相談活動ができるようにしていきます。また、継続して複数教員が相談に対応するよう取り組みます。

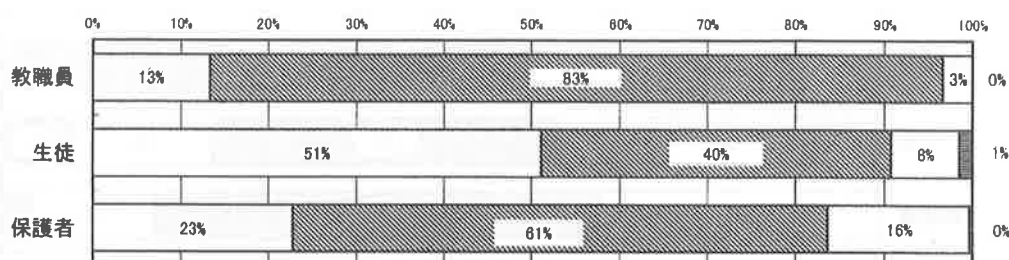
4 人権教育に関すること

設問10: 生徒は、自分や友だちの人権を大切にして生活をしている。



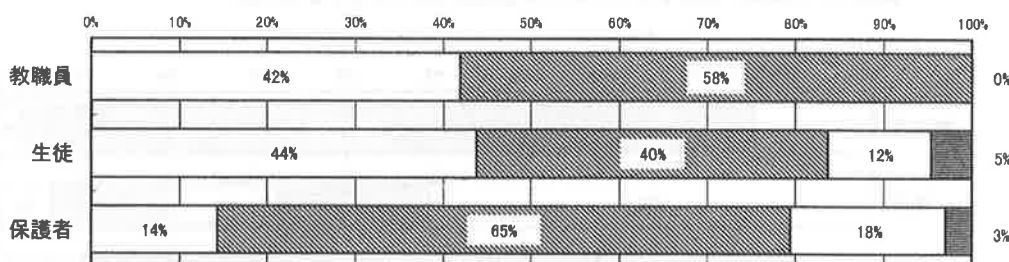
【設問10】では、肯定的にとらえたのは、教職員96%、生徒94%、保護者90%です。この数字は昨年とほぼ同じです。学校が安心できる場所であるために、これからも肯定的な意見が100%になるよう努力します。

設問11:学校は人権の大切さについて学ぶ学習が多い。



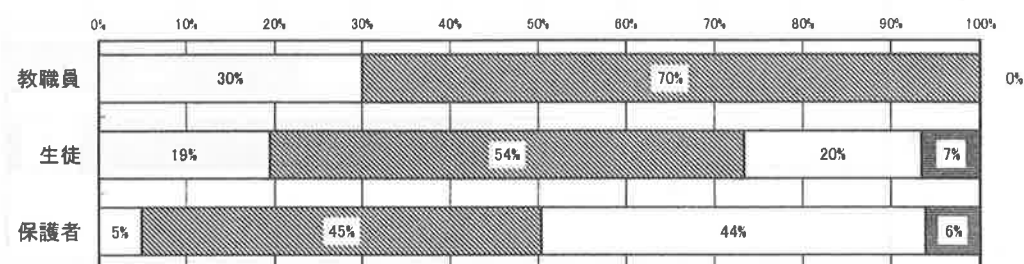
【設問11】「学校は人権の大切さについて学ぶ学習が多い」と肯定的に答えたのは、教職員96%、生徒91%、保護者84%です。昨年よりわずかですが減っています。今後も本校の目標でもある人権教育の充実を目指し、人権学習をすべての教育活動の基盤に据えた教育を推進していきます。また、保護者とともに考える機会を増やし、啓発活動に取り組んでいきます。

設問12:いじめのない学校づくりに適切な対応をしている。



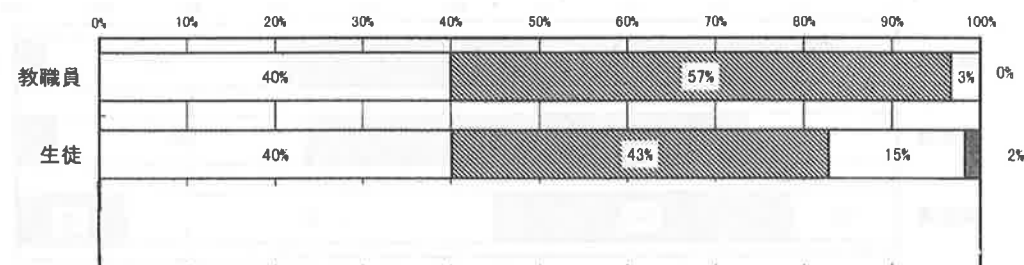
【設問12】いじめはいつでもどの学校でも起こりうるという認識のもと、定期アンケートや相談活動などを通して全教職員で取り組む重要課題です。今回、生徒84%、保護者79%が「適切な対応」として肯定的な回答となっています。生徒は昨年と同じ数値ですが、保護者は5%減少しています。また、生徒の17%、保護者の21%が否定的な回答となっています。このことを重く受け止め、生徒が安心して充実した学校生活を送れるように、保護者・地域・関係機関と連携し、早期発見・早期解決に努め、より適切な対応を進めていきます。

設問13:わかりやすい授業ができている。



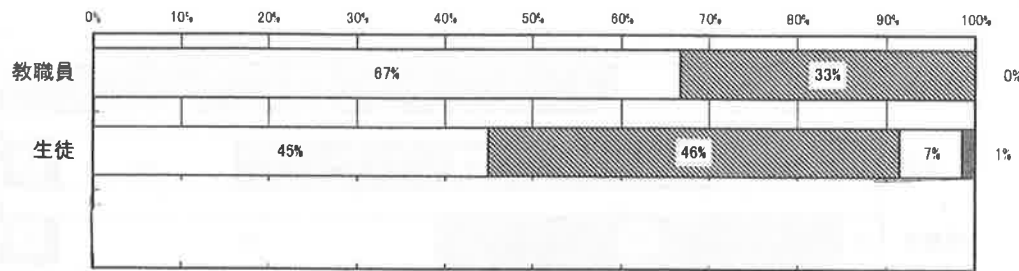
【設問13】本年徳島県の学校力・学力向上の支援事業の指定を受け、研究授業やユニバーサルデザイン、アクティブラーニングなどを授業に取り入れるなど授業改善に努めてきました。徐々にですが、生徒の肯定的な回答が、昨年度より5%増え73%になっていることから、授業改善が実践されつつあると考えられます。ただ、教職員と生徒との意識のずれも見られることから、今後もより生徒の立場を理解した、わかりやすい授業の実践に努力を重ねていきます。

設問14:毎時間授業のめあてがわかっている。



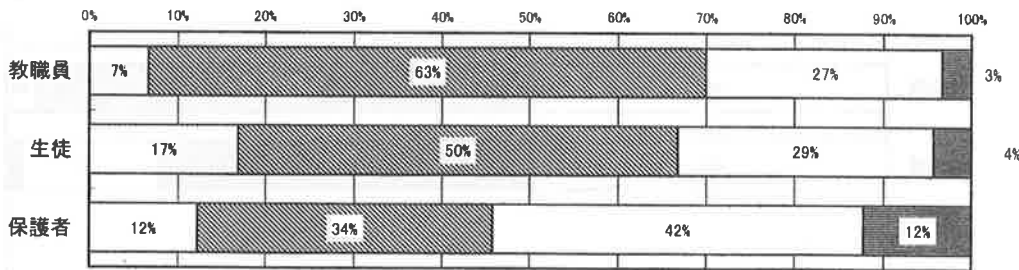
【設問14】全国学力・学習状況調査を受け、昨年度より設問として取り上げている項目です。昨年に比べ、否定的な回答が、教職員では3%、生徒では4%とそれぞれ減少しています。めあてにそった授業展開を実施し、まとめの時間を確保して、1時間ごとの授業内容をはっきりさせています。今後も継続させていきます。

設問15:テスト問題は授業内容にそった内容になっている



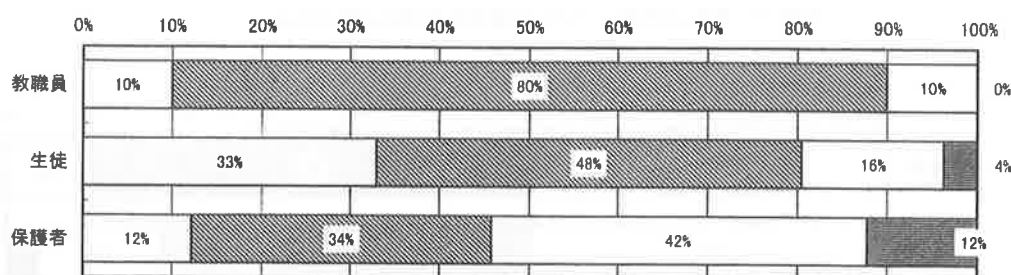
【設問15】昨年から調査している項目です。授業とテストが結びついていないか調査しました。テスト勉強が授業にそったものでなければ、学力の定着を図ることが難しくなります。その意味では、ほぼ満足のいく回答といえます。しかし、昨年度と比べ数値は2%減少しましたが、生徒の1割弱が否定的な答えとなっています。授業とテストが結びつくよう、授業を改善し、まとめの時間、復習の時間も確保しながら学習を進めていきます。

設問16:基礎学力は身につけている。



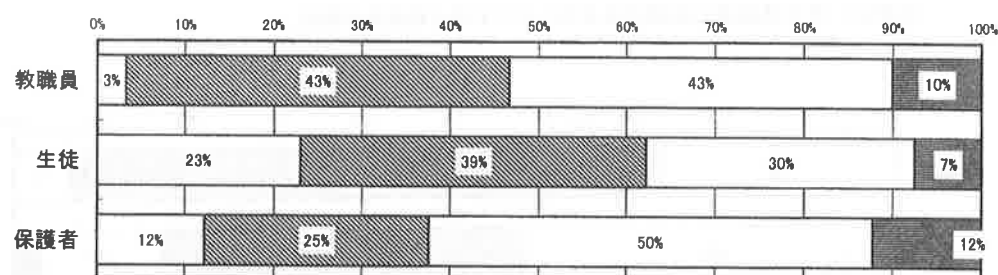
【設問16】昨年と比べてもあまり変わらない厳しい数字です。今年も基礎学力が定着するよう、家庭学習の充実ということで、学年×10分に挑戦していました。アンケート調査でも毎日学習する生徒が増えつつあります。授業と家庭での復習は両輪の輪です。今後も支援や指導を行っていきます。

設問17:生徒は授業に意欲的に取り組んでいる。



【設問17】「授業に意欲的に取り組んでいる」と回答したのが、生徒81%、保護者46%、教職員90%となっています。これは、昨年度とほぼ同じ数値です。但し、教職員・生徒との意識差は昨年度と比べ、3%減少しています。授業での意欲が、家庭学習にもつながっていくように継続的な指導を行っていきます。

設問18:家庭で必要な学習時間を確保している。

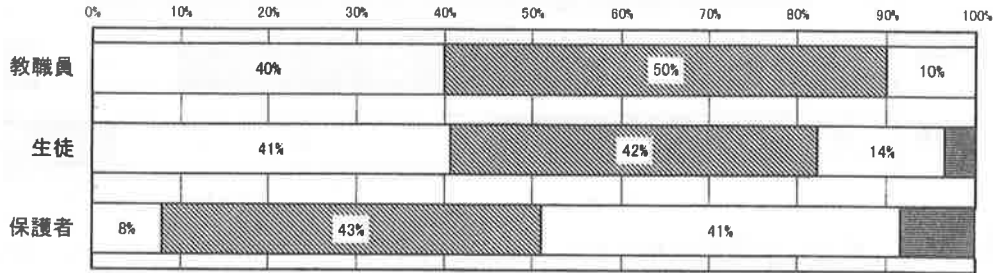


【設問18】で肯定的な回答は、教職員46%、生徒62%、保護者37%です。昨年に比べると教職員は40%減少、生徒は同じ数値、保護者は2%減少しています。まだまだ学年×10分の取組が不十分で、家庭学習の時間が確保されていません。年度初めに「家庭学習の仕方」を配布し、各学級でも指導しました。テスト前だけでなく、普段から机に向かう習慣を付けられるよう、帰り学活で家庭学習の内容を確認させるとともに、翌日提出する自主学習ノートを活用できるよう指導していきます。

学力の向上は本校の課題の一つです。学力の見える化を推し進め、読書活動（新聞の活用）、家庭学習の定着を図っていきます。

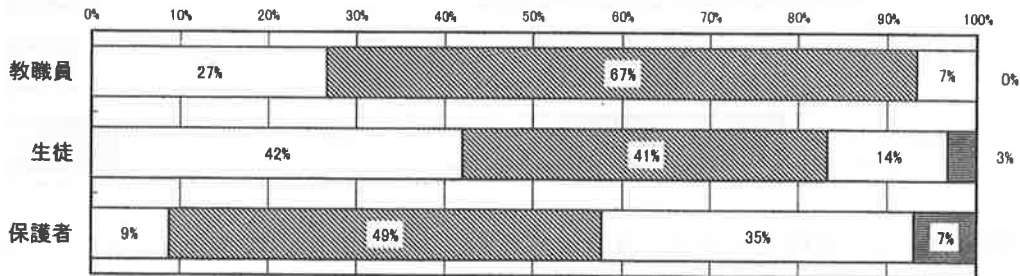
6 進路指導に関すること

設問19: 学校は進路についての情報をよく知らせてくれる。



【設問19】「進路についての情報をよく知らせている」と答えた教職員は90%、生徒は83%、保護者は51%でした。昨年度と数値の変化は大きくありませんが、保護者は昨年と同様に否定的な回答が多くなっています。今後、保護者のニーズをよく把握したうえで情報を提供していくよう、一層の努力をしていきます。

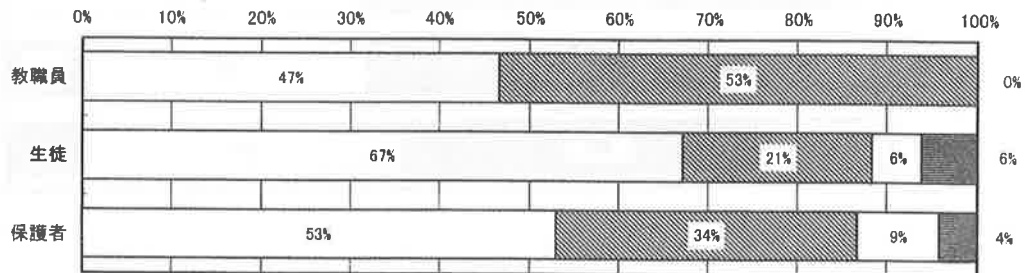
設問20: 学校は将来の進路や生き方について考える機会がある。



【設問20】「将来の進路や生き方について考える機会がある」と答えた教職員は94%、生徒は83%、保護者は58%でした。昨年度より教職員は7%増加し、生徒は4%増え、保護者は2%減少しています。この項目では、教職員、生徒、保護者との意識の差が見られます。【設問18】と同じく、保護者は半数近くが情報提供の充実を求めています。学級活動、総合的な学習の時間の充実、講演会、外部講師の活用などにより充実した教育活動を行うとともに、保護者への情報提供も行っていきます。

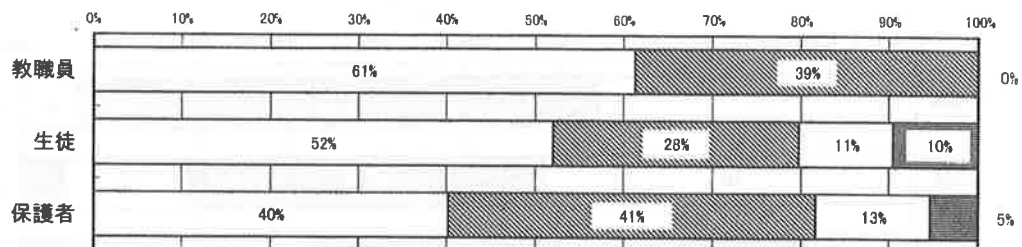
7 部活動に関すること

設問21:生徒は部活動に積極的に参加している。



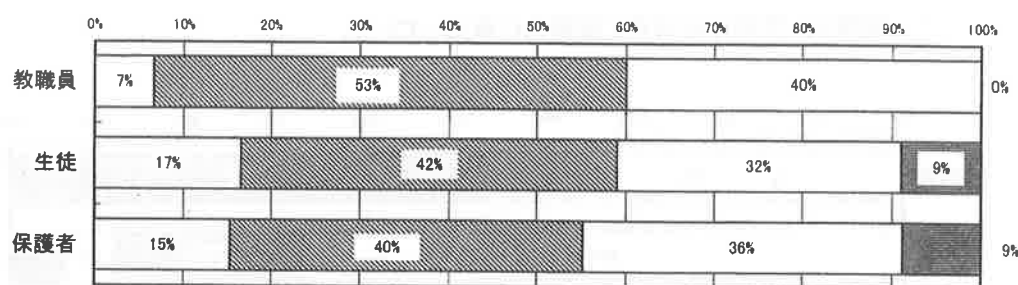
【設問21】では、教職員100%、生徒88%、保護者87%が積極的に取り組んでいると回答しています。これは、昨年とほぼ同じ数字で、生徒のほとんどが積極的に部活動に取り組んでいます。12%の生徒が否定的な回答になっています。今後も保護者とともにも生徒のために取り組んでいきます。

設問22:顧問は部活動に誠実に取り組んでいる。



【設問22】では、生徒の80%、保護者の81%が肯定的に評価しています。昨年度に比べて生徒が8%、保護者が6%減少しています。今後もより充実して部活動運営に努力していきます。

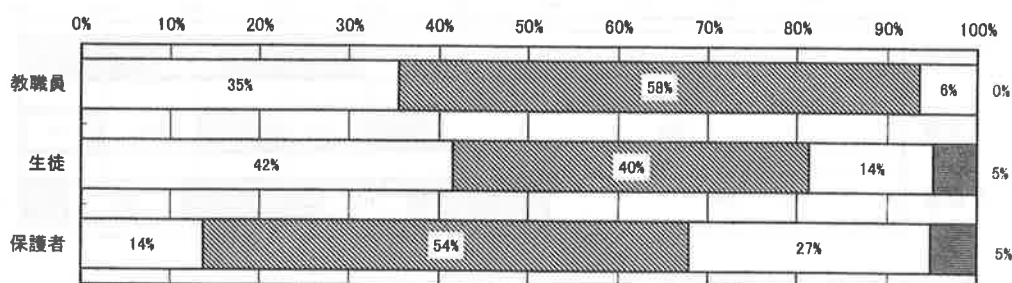
設問23:生徒は部活動と学習の両立ができている。



【設問23】では、学習に関する設問と関連しますが、教職員60%、生徒59%、保護者の55%が肯定的な回答でした。昨年とほぼ同じ数値です。学年+10分の目標設定と、毎日続けて学習する習慣が出来るよう、部活動とのバランスを考えた教育活動を実践していきます。

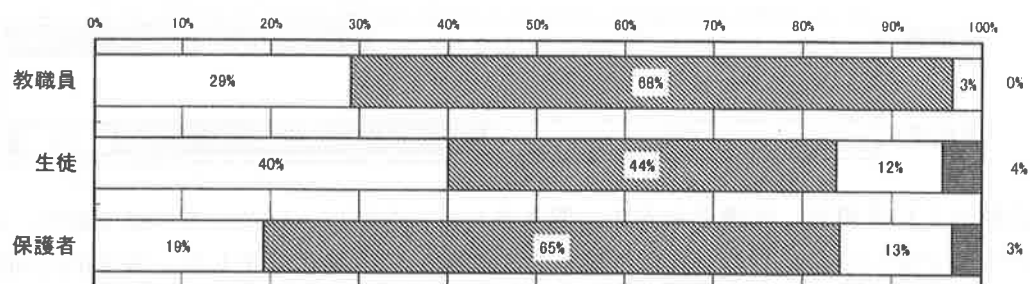
8 学校行事に関すること

設問24:学校行事はよく工夫され、参加するのが楽しい。



【設問24】では、教職員93%、生徒82%、保護者68%が肯定的な回答をよせています。昨年度と比べ、生徒・保護者はあまり変化はしていませんが、教職員は「そう思う」の数値が22%増加しています。今後も地域の中心としての学校を目指し、そのために学校の求心力が高められるよう、職員会、PTA 役員会等で意見交換をしながら見直しをするなど工夫を重ね、よりよき行事を実施していきます。

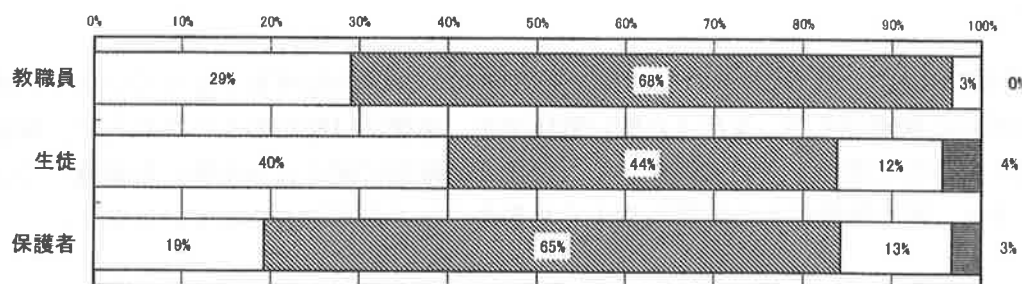
設問25:学校行事は学級や集団のまとまりや豊かな人間性育成に役立っている。



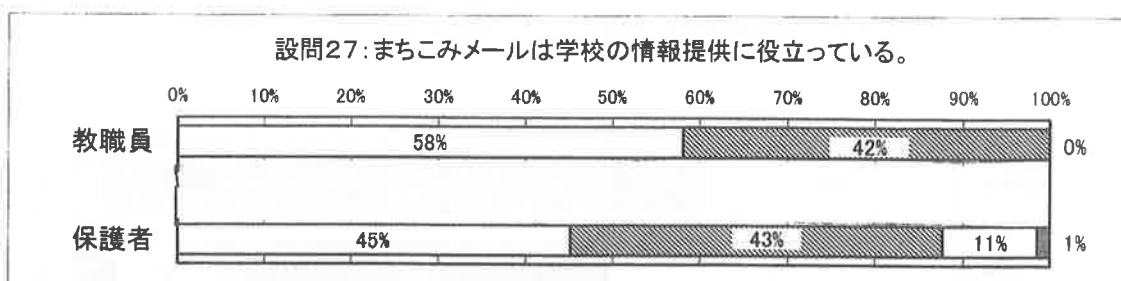
【設問25】では、教職員97%、生徒84%、保護者84%が肯定的に回答しています。また、教職員の「そう思う」が昨年より3%増えています。生徒の「そう思う」の肯定的回答は昨年に引き続き高い数値です。今後も行事を通して協力することの大切さや思いやりの心、忍耐力等を高めていきます。

9 開かれた学校づくりに関すること

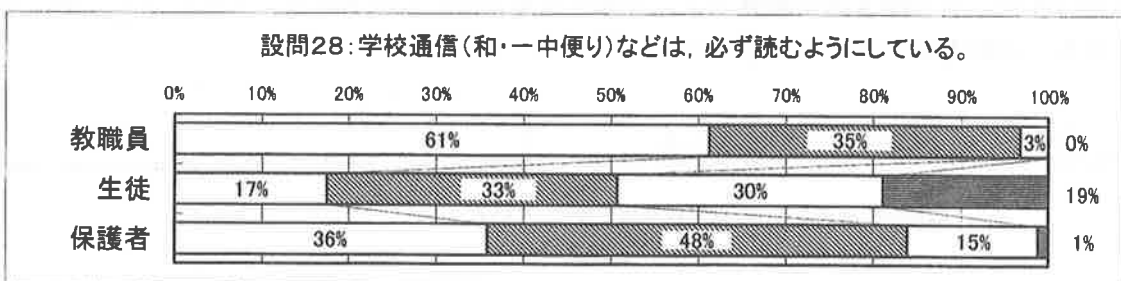
設問26:ホームページは学校理解に役立っている。



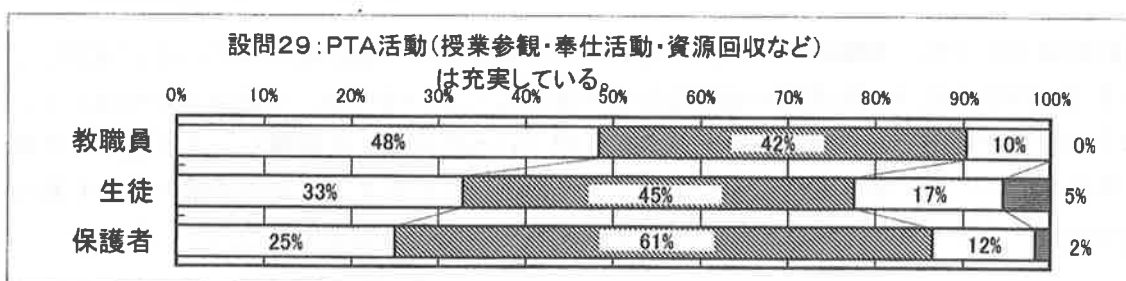
【設問26】では、教職員97%、生徒84%、保護者84%が役立っていると回答しています。昨年と比べ、保護者の数値はあまり変化してないですが、生徒は12%増えています。昨年からホームページにキャラクターの「いっちゃん」を掲載し、より親しみを持たせる画面にして、多くの情報をわかりやすく提供しています。生徒の活躍の様子も知らせながら、正確で新しい情報を提供し、学校理解や学校の説明責任に努めていきます。



【設問27】教職員，保護者を対象に聞きました。今年は，学校行事（修学旅行，遠足などのライブ配信）や生徒の日々の活動状況やお願い等も発信しました。肯定的な回答が多いということから活用していただけていると思います。これからも，必要な情報を早く提供出来るようできるよう取り組んでいきます。



【設問28】では，生徒50%，保護者84%が肯定的な回答となっています。昨年度とほぼ同じ数値ですが，まだまだ低い数値です。生徒には配布のみに終わらず，短学活と一緒に読むなど意識を高めていきます。保護者に確実に届くよう生徒にも指導していきます。また，配布物そのものが読みやすく見やすくなるよう工夫をしていきます。



【設問29】毎回授業参観に多数の保護者の皆様が来校していただいております。今年は天候不順のため中止になった資源回収の準備にも，地域役員さんを始め多数の保護者の皆様のご協力をいただきました。生徒78%，保護者86%が肯定的に捉えてくれています。今後も，PTA役員を中心に計画をすすめ，学校，保護者，地域がより連携を深め充実した活動にしていきます。

終わりに

今回も「設問15のテスト問題は授業の内容に沿った内容になっている」の項目を昨年度に引き続いて実施しました。この項目は、めあての理解、わかりやすい授業の実施、基礎学力の定着など、学力の向上について教職員が自分の授業を顧みる項目になっています。

昨年度と同じ進路に関することや学習に関する項目で、教職員と生徒、保護者との間で意識のずれが見られましたが、多くの項目にわたって肯定的な回答が寄せられました。しかし、「基礎学力の定着」「家庭学習の時間の確保」「進路情報についての保護者の意見」「わかりやすい授業」など否定的な意見の多いところもあります。これらを課題として次年度の改善点にしていきます。また、「いじめに関すること」「交通安全に関すること」など安心安全にかかわる問題や「学校が楽しい」などの項目は、肯定的回答の100%を目指し努力していきます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

